年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教 科： 地歴　　科 目： 歴史総合　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（１組：清水）

使用教科書：（ 山川出版社 『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 社会的事象の歴史的な見方・考え方に関する知識を身に付け、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとのつながりを理解する。また、イギリスで産業革命が起こった背景とその後の世界への影響について、資料から読み解き、理解する 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとの関連性や産業革命の背景、その後の世界への影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとの関連性や産業革命の背景、その後の世界への影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.18世紀の東アジアにおける社会と経済 2.貿易が生んだ世界と日本 3.産業革命 4.中国の開港と日本の開国 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 国民国家と明治維新 【知識及び技能】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景について考察し、文章でまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景について主体的に学び、探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1.市民革命 2.国民国家とナショナリズム 3.明治維新 4.日本の産業革命 5.帝国主義 6.変容する東アジアの国際秩序 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	C 総力戦と社会運動 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて適切な知識を身に付け、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.第一次世界大戦 2.ソヴィエト連邦の成立 3.ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4.世界経済の変容と日本 5.アジアのナショナリズム 6.大正デモクラシー 7.消費社会と大衆文化 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて適切な知識を身に付け、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.世界恐慌 2.ファシズムと共産主義 3.日中戦争 4.第二次世界大戦 5.占領と戦後改革 6.冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3学期	E 冷戦と世界経済 【知識及び技能】 　東西冷戦の歴史的展開や背景、高度経済成長期の日本と世界のつながりを理解する。また、冷戦が現在の国際情勢に及ぼした影響について、資料から読み解き、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　東西冷戦の歴史的展開や背景、現在の国際情勢に及ぼした影響、高度経済成長期の日本と世界のつながりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 　東西冷戦の歴史的展開や背景、現在の国際情勢に及ぼした影響、高度経済成長期の日本と世界のつながりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.冷戦下の地域紛争 2.軍拡競争から緊張緩和へ 3.世界各地の地域連携の形成 4.計画経済とその波及 5.日本の高度経済成長 6.アジアの中の戦後日本 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	F 世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】 　石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 　石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程について考察し、文章でまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 　石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程について主体的に学び、探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1.石油危機 2.アジア諸地域の経済発展 3.市場開放と経済の自由化 4.IT革命とグローバリゼーション 5.冷戦の終結とソ連の崩壊 6.EUの成立 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教　科：　地歴　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（１組：清水）

使用教科書：（ 帝国書院『高等学校　新地理総合』 ）

教科　地歴　の目標：

【知識及び技能】 社会的事象の歴史的な見方・考え方に関する知識を身に付け、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに関連付け得て理解する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察する。地理的な課題の解決に向けて構想したりした	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	1　地球上の位置と私たちの生活 2　時差と私たちの生活 3　地球儀と地図 4　身の回りの地図 5　統計地図の種類と利用 6　地理情報システム（GIS）の活用	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	A 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	1　現代世界の国家 2　日本の位置や領域 3　国家間の結び付き 4　貿易によって結び付く世界 5　さまざまな交通網の発達 6　世界を結ぶ通信網の発達 7　観光のグローバル化	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。また，地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	1　大地形と人々の生活 2　変動帯と人々の生活 3　安定地域と人々の生活 4　河川がつくる地形と人々の生活 5　海岸の地形と人々の生活 6　氷河・乾燥・カルスト地形と人々の生活 7　気温・降水と人々の生活 8　大気大循環と人々の生活 9　世界の植生と気候区分 10　熱帯の生活 11　乾燥帯の生活 12　温帯の生活 13　亜寒帯・寒帯の生活	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。また，地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	1　世界の言語と人々の生活文化 2　世界の宗教と人々の生活文化 3　人々の生活を支える農業の発展 4　人々の生活を支える工業の発展 5　多様な地球環境問題 6　熱帯林の破壊への対策 7　地球温暖化への対策 8　世界のエネルギー・鉱産資源 9　エネルギー利用の現状と課題 10　地域で異なるエネルギー問題への取り組み	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3学期	B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	1　地震・津波による災害 2　地震・津波の被災地の取り組み 3　火山の恵みと災害 4　火山と共生する地域の取り組み 5　さまざまな気象災害 6　気象災害への取り組み 7　減災の取り組み 8　被災地への支援	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（２学年用） 教科　　公民　　科目 公共

教　科： 公民　　科　目： 公共　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（１組：髙橋）

使用教科書：（ 実教出版『公共』 ）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】　社会的な見方・考え方を身につけ、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題について事実を基に多面的・多角的に考察したり公正に判断したりする力や議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い国民主権を担う公民としての自覚を深める。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもｔに多面的、多角的に考察し硬性に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力しあうことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A. 公共の扉 ［知識・技能］ ・自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は自個人として尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ［思考・判断・表現］ ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることんついて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	指導項目・内容 第１章社会を作る私たち １．青年期とは ２．自己形成の課題	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
		指導項目・内容 １．職業生活と社会参加 ２．伝統文化と私たち	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	A. 公共の扉 ［知識・技能］ ・自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は自個人として尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ［思考・判断・表現］ ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることんついて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	指導項目・内容 第２章人間としてよく生きる １．古代ギリシアの人間観 ２．科学と人間 ３．自由の実現 ４．社会を作る人間 第３章他者とともにに生きる １．人間と幸福 ２．公正な社会をめざして	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	7
		指導項目・内容 第４章民主社会の倫理 １．自由・権利と責任・義務 ２．民主政治の成立と基本原理 ３．民主政治のしくみと課題 ４．世界の政治制度	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2学期	B. よりよい社会の形成に参加する私たち B-1現代の民主政治と日本国憲法 ［知識・技能］ ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範にもとづいて各人の違憲や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどをとして、権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成維持されていくことにについて理解する。 ［思考・判断・表現］ ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］ ・よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第１章日本国憲法の基本的性格指導項目・内容 １．日本国憲法の成立 ２．日本国憲法の基本的性格 ３．自由に生きる検知と平等に生きる権利 ４．社会権と参政権・請求権 ５．新しい人権と公共の福祉 ６．平和主義と我が国の安全・防衛問題	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		第２章日本の政治機構と政治参加 指導項目・内容 １．政治機構と国会 ２．行政権と焼成機能の拡大 ３．公正な裁判の保障 ４．地方自治と住民福祉 ５．政党政治と選挙制度 ６。世論と政治参加	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	B. よりよい社会の形成に参加する私たち B－２現代の経済社会 ［知識・技能］ ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分や市場経済システムを機能させ国民福祉の向上に寄与する役割について理解する。 ［思考・判断・表現］ ・具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野にいれその解決に向けて事実を基に行動して考察したり構想したことを論拠をもって表現できる。 ［主体的に学習に取り組む態度］ ・雇用と労働問題、財政と租税の役割、少子高齢社会における社会保障について市場経済の機能と限界など現実社会の事柄と課題に対して主体的に解決しようとしている。	第１章現代の経済社会 指導項目・内容 １．経済主体と経済活動の意義 ２．経済社会の変容 ３．市場のしくみと市場の失敗 ４．現代の企業 ５．国民所得と経済成長	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		指導項目・内容 ６．金融の役割 ７．日本銀行の役割 ８．財政の役割と租税 ９．日本の財政の課題	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	5
		指導項目・内容 第２章日本経済の特質と国民生活 １．戦後日本経済の成長と課題 ２．転機に立つ日本経済と中小企業 ３．農業と食糧問題 ４．消費者問題 ５．公害の防止と環境保全 ６．労働問題と労働者の権利 ７．社会保障の役割と課題	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3学期	B. よりよい社会の形成に参加する私たち Ｂ－３国際社会と人類の課題 ［知識・技能］ ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる事柄や課題を基に経済活動が世界的規模で自由におこなわれていること一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えることや貧困や格差が解消されないことを理解しまとめる技能を身につけている。 ［思考・判断・表現］ ・国際経済の動向や課題において解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れ、課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］ ・国際経済の動向と課題に対して多面的・多角的な考察や深い理解を通して経済のグローバル化と相互依存の高まり、貧困と格差などに関わる事柄や課題に対して主体的に解決しようとしている。	指導項目・内容 第１章国際政治の動向と課題 １．国際社会と国際法 ２．国際連合と国際協力 ３．今日の国際政治 ４．人種民族問題 ５．軍拡競争から軍縮へ ６．国際平和と日本の役割	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	9
		指導項目・内容 第３章国際経済の動向と課題 １．貿易と国際収支 ２．外国為替市場のしくみ ３．第二次世界大戦後の国際政治 ４．地域的経済統合の進展	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		指導項目・内容 １．国際経済のつながりと課題 ２．発展途上国の諸課題と日本の役割	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（２学年用） 教科　地歴　科目 日本史探究

教　科： 地歴　　科　目： 日本史探究　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（１組：髙橋）

使用教科書： 山川出版社 『詳説 日本史』)

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的・世界史的でき事と関連付けながら諸資料から様々な情報を調べまとえめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や伝統・文化などの特色を多面的・多角的に考察したり解決を視野にいれて構想したりそれらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野にいれ探求しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられ課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察したころを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A.日本文化のあけぼの ［知識・技能］日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えられた影響について、自然環境の変化や大陸の影響に着目して理解させる。 ［思考・判断・表現］ 考古資料をもとに集落・風習・食生活などをふまえ、旧石器文化・縄文文化の社会や、小国の形成から環濠集落、武器の出現、文献資料にもとづき多角的に考察した結果を根拠を示して表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化や農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて旧石器文化、縄文文化弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	指導項目・内容 1．文化のはじまり 2．農耕社会の成立	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
		指導項目・内容 1．古代社会と海外との交流 2．木簡から古代国家を探る 3．古墳文化の展開 4．飛鳥の朝廷	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	3
	定期試験			○	○		1
	B.律令国家の形成［知識・技能］ 飛鳥時代の政権運営や文化の特色について大陸や朝鮮半島との関係について着目し理解している。隋・唐などの東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程を理解している。藤原氏の権力掌握過程を資料から読み取り律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 ［思考・判断・表現］ 仏教の受容、遣隋使派遣など大陸との交流、律令体制整備の過程、藤原氏を中核とする政治抗争の進展、土地制度の変容などのつながりを関連付けて考察し根拠示して表現する。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して推古朝政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	指導項目・内容 1．飛鳥の朝廷 2．律令国家への道 3．平城京の時代	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	7
		指導項目・内容 1．律令国家の文化 2．律令国家の変容	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
	定期試験			○	○		1

2学期	C. 貴族政治の展開［知識・技能］ 大陸からの文物の定着を前提として平安時代により日本の風土にあった文化が形成されたこと、地方の諸勢力の成長と影響により貴族政治や土地制度が変容し新勢力が台頭してきたことを理解している。 ［思考・判断・表現］ 国際関係の変化や遣唐使の廃止などから信仰の変容、かな文字など国風文化の発達を考察し、表現している。文献資料を活用し国司の変容、公領、荘園の発達などから地方支配の状況を考え武士の台頭の根拠を表現できる。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 平安時代の政治のあり方と文化の関係についてつながりを見出そうとしている。徴税方式や地方の豪族や武力を持った勢力の動向が政治・・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	指導項目・内容 1．摂関政治 2．国風文化 3．地方政治の天下と武士	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		指導項目・内容 1．院政のはじまり 2．院政と平氏政権 3．鎌倉幕府の成立	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	5
	定期試験			○	○		1
	D. 武家政権の成立 ［知識・技能］ 宋・元などユーラシアとの交流に着目しモンゴル襲来の国際的背景や国内政治への影響について理解している。諸資料から公武関係の変化、鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移、諸産業や流通により地域経済が成長したこと、庶民の台頭や戦国大名の台頭を理解できる。 ［思考・判断・表現］ 宋・元などユーラシアとの交流、南北朝の動乱などにみられる政治・経済基盤をめぐる対立や国際情勢の変化を多面的・多角的に考察し表現できる。戦国大名の台頭から領国経営の特色や社会の変化を多面的・多角的にとらえ表現できる。 ［主体的に学習に取り組む態度］宋・元などユーラシアとの交流や経済・文化への影響について、主体的に追究しようとしている。武家政権の変容や国際情勢の変化に着目して諸資料を利用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	指導項目・内容 1．武士の社会 2．モンゴルの来襲と幕府の衰退 3．鎌倉文化 4．室町幕府の成立	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		指導項目・内容 5．幕府の衰退と庶民の台頭 6．室町文化 7．戦国大名の登場	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	5
	E. 近世の幕開け ［知識・技能］織豊政権の特色を理解し、外国との交流による文化の特徴を理解している。 ［思考・判断・表現］織豊政権の諸政策の目的や支配制度について具体的な根拠を示して表現できる。 ［主体的に学習に取り組む態度］時代の転換に着目して中世から近世の国家社会の変容を考察し時代を通観する問いを表現しようとしている。	指導項目・内容 1．織豊政権 2．桃山文化	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
	定期試験			○	○		1
3学期	F. 幕藩体制の成立と展開 ［知識・技能］アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から織豊時代と幕藩体制の類似や相違、江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 ［思考・判断・表現］織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相につて根拠を示して表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］時代の転換に着目して、中世から近世の国家社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。幕藩体制が安定していく中で幕府の諸政策がもたらした暮らしへの影響について主体的に追究しようとしている。	指導項目・内容 1．幕藩体制の成立 2．幕藩社会の構造 3．幕政の安定 4．経済の発展	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	9
	G. 幕藩体制の動揺 ［知識・技能］幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしなどの資料から享保の改革や田沼時代の諸政策の意義や幕藩体制下の社会の変化、列強の接近にともなう事件や政策への影響などの資料から幕藩体制の衰退の実情を理解している。 ［思想・判断・表現］農業事情の変化、貨幣経済の浸透により米作を基本とする幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響に着目して幕藩と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	指導項目・内容 1．元禄文化 2．幕政の改革 3．宝暦・天明期の文化	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6
		指導項目・内容 1．幕府の衰退と近代への道 2．化政文化	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
	定期試験			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地歴 科目 世界史探究

教　科： 地歴　　科　目： 世界史探究　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：清水）

使用教科書：（ 山川出版社『詳説世界史』 ）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】	社会的事象の歴史的な見方・考え方に関する知識を身に付け、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 文明成立の背景と古代文明の特質について理解している。また、その後の世界に及ぼした影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文明成立の背景と古代文明の特質について、各地域の地理的条件や政治・宗教に関する資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 文明成立の背景と古代文明の特質、その後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.文明の誕生 2.古代オリエントとその周辺 3.南アジアの古代文明 4.中国の古代文明 5.南北アメリカ文明	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1.草原とオアシスの世界 2.秦、漢帝国 3.中国の動乱と変容 4.東アジア文化圏の形成	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2学期	C 南アジア・西アジア・東南アジア 世界の展開と地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 4. イラン諸国家の興亡とイラン文明 5. ギリシア人の都市国家 6. ローマと地中海支配 7. キリスト教の成立と発展	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D イスラーム教の成立・拡大と ヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 3. イスラーム教の諸地域への伝播 4. 西アジアの動向	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3学期	E ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、十字軍遠征や百年戦争と関連付けて多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	F 東アジア世界の展開とモンゴル 帝国、アジア諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 3. アジア交易世界の興隆 4. オスマン帝国とサファヴィー朝 5. ムガル帝国の興隆 6. 清代の中国と隣接諸地域	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令6年度（3学年用） 教科 地歴 科目 日本史探究

教　科：　地歴　　科　目：　日本史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組

教科担当者：（１組：高橋）

使用教科書：　山川出版社『詳説　日本史』　　）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的・世界史的でき事と関連付けながら諸資料から様々な情報を調べまとえめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や伝統・文化などの特色を多面的・多角的に考察したり解決を視野にいれて構想したりそれらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　我が国の歴史の展開に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野にいれ探求しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

科目　地歴　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられ課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察したころを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A．幕藩体制の動揺 【知識・技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発、幕藩体制下の社会の変容や列強の接近にともなう事件、幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府勢力の衰退と新政府の成立について理解している。 【思考・判断・表現】 商品作物の栽培や貨幣経済の浸透による経済構造の変化が与えた影響や国際情勢の変化などに着目して幕藩体制の動揺と諸藩の動向、日本が直面していた諸課題を踏まえ、せいっじや経済などの変化を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会・経済のしくみの変化や幕府・諸藩の政策の変化について、また日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。 B．近世から近代へ 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から情報を読み取り、開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ政治や経済などの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事情を国際的な視点から考察し開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	第Ⅲ部　第10章 1．幕政の改革 2．宝暦・天明期の文化 3．幕府の衰退と近代への道 4．化政文化 第11章 5．開国と幕末の動乱 6．幕府の滅亡と新政府の発足	【知識・技能】 定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】 授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C．近代国家の成立 【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と氏族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との億歳関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	第12章 1．明治維新と富国強兵 2．立憲国家の成立 3．日清・日露戦争と国際関係	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	D．近代国家の展開 【知識・技能】 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。 E．近代の産業と生活 【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化あ社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	第13章 1．第一次世界大戦と日本 2．ワシントン体制 第14章 3．近代産業の発展 4．近代文化の発達 5．市民生活に変容と大衆文化	【知識・技能】 定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】 授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	F．恐慌と第二次世界大戦 【知識と技術】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったち、様々な人々の議論について考察したりして課題を主体的に追究しようとしている。 G．占領下の日本 【知識・技術】 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について主体的に追究しようとしている。	第15章 1．恐慌の時代 2．軍部の台頭 3．第二次世界大戦 第16章 4．占領と改革 5．冷戦の開始と講話	【知識・技能】 定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】 授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3学期	H．高度成長の時代 【知識・技能】 保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、街区・政治・経済を分萎えて理解している。 【思考・判断・表現】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新電法条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。 I．激動する世界と日本 【知識・技術】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱によに対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察しその結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	第17章 1．55年体制 2．経済復興から行動経済成長へ」 第18章 3．経済大国への道 4．冷戦の終結と日本社会の変容	【知識・技能】 定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】 授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴 科目 世界史探究

教　科： 地歴　　科　目： 世界史探究　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1組：清水）

使用教科書：（ 山川出版社『詳説世界史』 ）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】	社会的事象の歴史的な見方・考え方に関する知識を身に付け、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 「世界の一体化」と大航海時代の特質について理解している。また、その後の世界に及ぼした影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「世界の一体化」の背景と大航海時代の特質について、各地域の地理的条件や政治・宗教に関する資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 「世界の一体化」の背景と大航海時代の特質、その後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 3 オスマン帝国とサファヴィー朝 4 ムガル帝国の興隆 5 清代の中国と隣接諸地域	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ルネサンスや宗教改革が起こった背景と歴史的展開及びヨーロッパ諸国の関係性について資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ルネサンスと宗教改革が起こった背景と歴史的展開及びヨーロッパ諸国の関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスと宗教改革が起こった背景と歴史的展開及びヨーロッパ諸国の関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2学期	C 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と国民国家の形成 【知識及び技能】 産業革命やフランス革命、アメリカ合衆国の発展等の歴史的展開とその後の世界に及ぼした影響について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命やフランス革命、アメリカ合衆国の発展等の歴史的展開とその後の世界に及ぼした影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命やフランス革命、アメリカ合衆国の発展等の歴史的展開とその後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立 5 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 6 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 7 アメリカ合衆国の発展 8 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 帝国主義に基づく列強の世界分割と第一次世界大戦の歴史的展開やその後の影響について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義に基づく列強の世界分割と第一次世界大戦の歴史的展開やその後の影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義に基づく列強の世界分割と第一次世界大戦の歴史的展開やその後の影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動 4 第一次世界大戦とロシア革命 5 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 6 アジア・アフリカ地域の民族運動	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	E 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 世界恐慌によるヴェルサイユ体制の崩壊と第二次世界大戦勃発の関連性やその後の影響について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌によるヴェルサイユ体制の崩壊と第二次世界大戦勃発の関連性やその後の影響について、十字軍遠征や百年戦争と関連付けて多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌によるヴェルサイユ体制の崩壊と第二次世界大戦勃発の関連性やその後の影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	F 冷戦の歴史的展開とその影響 【知識及び技能】 冷戦の歴史的展開と現代社会への影響について、資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の歴史的展開と現代社会への影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の歴史的展開と現代社会への影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺と終結	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教　科： 公民　　科　目： 政治・経済　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（１組：高橋）

使用教科書： 実教出版『最新政治・経済』 ）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構成に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方の自覚、国民主権を担う公民として自国を愛し平和と繁栄を図ること各国が相互に主権を尊重し協力しあうことの大切さにつて自覚を深める。

科目　政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、昭四郎から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を崖いなうとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A．現代日本の政治 【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通じて理解している。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について多面的・多角的に考察し表現している。 ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会いおける自身の役割を積極的に追究しようとしている。	第1部　第1編 1．民主政治と法 2．民主政治の基本原理 3．民主政治のしくみと課題 4．世界の主な政治体制 5．日本国憲法の成立 6．自由に生きる権利 7．平等にいきる権利 8．社会権と参政権・請求権 9．新しい人権 10．人権の広がりと公共の福祉 11．平和主義と自衛隊 12．日米安全保障体制の変化	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B．現代日本の経済 【知識・技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財務の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事情を通して理解してる。 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。	1．政治機構と国会 2．内閣と行政機能の拡大 3．公正な裁判の保障 4．地方自治と住民福祉 5．政党政治 6．選挙制度 7．世論と政治参加 第2編 8．経済活動の意義 9．経済主体と市場の働き 10．企業の役割 11．国民所得 12．経済成長と国民の福祉	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	【思考・判断・表現】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・タカ科雨滴に考察。構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会いおける自身の役割を積極的に追究しようとしている。 C.現代の国際政治 【知識・技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする刻足紀行の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。	1．金融の役割 2. 日本銀行の役割 3. 財政の役割と租税 4. 日本の財政の課題 5. 日本経済の成長と課題 6. 中小企業と農業 7. 消費者問題 8. 公害防止と環境保全 9. 労働者問題と労働者の権利 10. こんにちの労働問題 11. 社会保障の役割と課題 第3篇 12. 現代日本における諸課題の探求	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	【思考・判断・表現】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、諸課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に積極的に追究しようとしている。 D．現代の国際経済 【知識・技能】 ・貿易の現状と「意義、為替相場の「変動、国民経済と国際収支、国際強硬の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。	第2部　第1篇 1. 現代の国際政治 2. 現代の国際経済 3. 国際社会と国際法 4. 国際社会の変化 5. 国際連合と国際協力 6. こんにちの国際政治 7. 人種・民族問題 8. 軍拡競争から軍縮へ 9. 日本の外交と国際社会での役割 第2編 10. 貿易と国際収支 11. 外国為替市場のしくみ 12. 第二次世界大戦後の国際経済	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3学期	・現代の国債政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・相互依存官営が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸問題に対し瑠意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり問題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	1. 新興国の台頭 2. 経済のグローバル化 3. 発展途上国の環境と展望 4. 地球環境問題、資源エネルギー問題 5. 経済協力と日本の枠割 第3篇	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

合計
70